



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月25日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名  
コード番号 5204 URL <https://www.ishizuka.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石塚 久継  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 山下 登 (TEL) 0587-37-2111  
定時株主総会開催予定日 2024年6月18日 配当支払開始予定日 2024年5月31日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月18日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年3月21日～2024年3月20日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	57,882	2.0	5,456	146.8	5,362	131.4	4,707	—
2023年3月期	56,749	—	2,210	△15.4	2,317	△17.0	252	△88.8

(注) 包括利益 2024年3月期 5,570百万円(—%) 2023年3月期 104百万円(△95.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	1,129.21	—	16.8	6.0	9.4
2023年3月期	60.26	—	1.0	2.7	3.9

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しているため、2023年3月期の売上高の対前期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	92,115	32,350	33.6	7,418.27
2023年3月期	86,536	28,749	29.0	5,997.88

(参考) 自己資本 2024年3月期 30,942百万円 2023年3月期 25,104百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	5,704	△8,790	750	3,778
2023年3月期	2,087	△5,593	4,140	6,069

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	—	—	35.00	35.00	146	58.1	0.6
2024年3月期	—	—	—	60.00	60.00	251	5.3	0.9
2025年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00		14.7	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年3月21日～2025年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	57,000	△1.5	2,500	△54.2	2,100	△60.8	1,700	△63.9	407.57

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	4,219,554株	2023年3月期	4,219,554株
② 期末自己株式数	2024年3月期	48,490株	2023年3月期	33,933株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	4,169,255株	2023年3月期	4,185,784株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年3月21日～2024年3月20日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	34,261	△6.7	1,846	—	3,294	114.0	3,433	—
2023年3月期	36,739	—	△102	—	1,539	△26.7	159	△90.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	820.39		—					
2023年3月期	38.06		—					

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前事業年度の期首から適用しているため、2023年3月期の売上高の対前期増減率は記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	83,707		24,292		29.0	5,804.61		
2023年3月期	75,575		19,952		26.4	4,766.93		

(参考) 自己資本 2024年3月期 24,292百万円 2023年3月期 19,952百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料につきましては、T D n e tで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の規制が大幅に緩和され経済活動が正常化に進む一方、ウクライナ並びに中東地域を巡る地政学的問題の長期化や円安を背景とした物価高騰など先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、長期的な視点で会社の方向を示すべきと考え、2019年に制定した新たな企業理念を踏まえ、「ISHIZUKA GROUP 2030～挑戦し続けることにより、躍動する企業へ～」を策定しました。また、これに基づき策定した当期を2年度目とする2024年度中期経営計画「変化するスピードに負けない」では、①2024年度連結営業利益3,500百万円、②中堅・若手人材の育成への取り組み、③2030年度CO2排出量をScope 1 + Scope 2において50%削減・Scope 3において25%削減（ともに2020年度対比）に向けたロードマップ作りとその実践に取り組んでおります。

売上高につきましては、ガラスびん事業は生産拠点である姫路工場の操業停止により減収となりましたが、各セグメントにおいて諸資材価格の高騰に対する価格改定の取り組みを進め、グループ全体の売上高は57,882百万円（前期比2.0%増）。利益につきましては、LNG及び電力などのエネルギー価格は依然として高い水準にありますが、価格改定に加えて製造工程の合理化を通じたコスト低減施策の取り組みにより、営業利益5,456百万円（前期比146.8%増）、経常利益5,362百万円（前期比131.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益4,707百万円（前期は252百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### <ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、諸資材価格の高騰に対する販売価格改定の取り組みを進めましたが、前年度に操業を停止した姫路工場の影響により、売上高は12,356百万円（前期比15.0%減）となりました。

#### <ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、アルコールメーカー向けの業務用品の受注が増加しましたが、一般市場向けの販売が落ち込んだことや貯蔵びんの品目数を縮小したことなどにより全体として伸び悩みました。陶磁器は、国内及び海外ともにホテル向けの受注を獲得したことなどにより、セグメント全体の売上高は13,827百万円（前期比4.4%増）となりました。

#### <紙容器関連事業>

紙容器は、急激な円安進行等に伴い製品の主原料である原紙の調達コストが高騰していますが、それに対する販売価格是正の取り組みと紙容器用充填機の販売もあり、売上高は8,534百万円（前期比19.4%増）となりました。

#### <プラスチック容器関連事業>

PETボトル用プリフォームは、原燃料高騰に対する販売価格改定に加え主要ユーザーからの受注が堅調に推移し過去最高の出荷本数を更新し、売上高は15,274百万円（前期比5.2%増）となりました。

#### <産業器材関連事業>

産業器材は、原材料価格の高騰に伴う価格改定などにより、売上高は2,664百万円（前期比6.7%増）となりました。

#### <その他事業>

抗菌剤は、新型コロナウイルス感染症の影響の収束、また世界的物価高騰の影響もあり海外市場での旺盛な需要は落ち着き、コロナ禍以前の出荷水準に戻りました。金属キャップは酒類及び医薬向けの出荷がともに伸張したことなどによりセグメント全体の売上高は5,225百万円（前期比9.0%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて5,578百万円増加し、92,115百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金並びに有形固定資産が増加したことによるものです。また、負債合計は1,977百万円増加し、59,765百万円となりました。これは主に、有利子負債並びに支払手形及び買掛金が増加し、繰延税金負債並びに退職給付に係る負債が減少したことによるものです。

純資産合計は3,600百万円増加し、32,350百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。これらの結果、自己資本比率は33.6%（前連結会計年度末は29.0%）となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,291百万円減少し、3,778百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、5,704百万円(前年同期は2,087百万円の資金増加)となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前当期純利益、減価償却費及び仕入債務の増加によるものです。

一方、資金減少の主な要因は、売上債権の増加によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、8,790百万円(前年同期は5,593百万円の資金減少)となりました。資金減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、750百万円(前年同期は4,140百万円の資金増加)となりました。資金増加の主な要因は、長期借入による収入によるものです。

一方、資金減少の主な要因は、長期借入金の返済による支出、短期借入金の減少及びリース債務の返済による支出によるものです。

また、金融機関と総額2,000百万円のコミットメントライン契約を締結しており、資金の流動性を確保しております。

### (4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症のパンデミックやウクライナ並びに中東地域をめぐる地政学的リスクの高まりなど外部環境が目まぐるしく変化する中、当社グループは「モノづくり」を通じて体質を強化し、多少の荒波が生じても難なく乗り越えられる経営基盤を確立するため、長期的な視点で会社の方向を示すISHIZUKA GROUP 2030及びそれに基づく2024年度を最終年度とする3か年の中期経営計画を策定しております。

#### ISHIZUKA GROUP 2030

コンセプト : ~挑戦し続けることにより、躍動する企業へ~

重点ポイント : (1) 2030年度連結営業利益50億円  
(2) ISHIZUKA GROUPを支える「ヒトづくり」  
(3) 環境と調和した持続可能な未来社会への貢献  
2030年度CO2排出量をScope 1 + 2において50%削減・  
Scope 3において25%削減(ともに2020年度対比)

#### 2024年度中期経営計画

コンセプト : 「変化するスピードに負けない」  
重点ポイント : (1) 2024年度連結営業利益35億円  
(2) 中堅・若手人材の育成への取り組み  
(3) 2030年度CO2排出量をScope 1 + 2において50%削減・  
Scope 3において25%削減(ともに2020年度対比)に向けたロードマップ作りと実践

2024年度(2025年3月期)の連結営業利益3,500百万円を目標として積極的な取り組みを進めてまいりますが、2025年3月期の連結経営成績につきましては、売上高57,000百万円(前期比1.5%減)、営業利益2,500百万円(前期比54.2%減)、経常利益2,100百万円(前期比60.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,700百万円(前期比63.9%減)を見込んでおります。2025年3月期は、プラスチック容器関連事業のPETボトル用プリフォーム新工場の立ち上げによる費用が先行して発生すること、ガラスびん関連事業の溶解炉定期更新を予定していることにより目標には届かない見込みですが、それらの一時的影響を除いた場合には連結営業利益3,500百万円を達成する見通しです。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当連結会計年度 (2024年3月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,074	3,783
受取手形及び売掛金	15,767	19,913
有価証券	1,000	-
商品及び製品	10,517	9,966
仕掛品	775	655
原材料及び貯蔵品	4,131	4,508
有償受給に係る資産	3,136	3,480
その他	2,463	2,143
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	42,862	44,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,891	26,363
減価償却累計額	△20,718	△20,181
建物及び構築物(純額)	6,173	6,181
機械装置及び運搬具	43,665	39,918
減価償却累計額	△39,647	△36,124
機械装置及び運搬具(純額)	4,017	3,794
工具、器具及び備品	6,712	6,241
減価償却累計額	△5,795	△5,230
工具、器具及び備品(純額)	917	1,010
土地	16,745	15,595
リース資産	7,334	7,017
減価償却累計額	△3,877	△3,639
リース資産(純額)	3,456	3,377
建設仮勘定	4,113	10,112
有形固定資産合計	35,423	40,071
無形固定資産		
ソフトウェア	90	79
その他	31	28
無形固定資産合計	121	108
投資その他の資産		
投資有価証券	6,801	6,239
退職給付に係る資産	-	311
繰延税金資産	925	538
その他	258	285
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	7,968	7,357
固定資産合計	43,514	47,538
繰延資産		
社債発行費	159	128
繰延資産合計	159	128
資産合計	86,536	92,115

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当連結会計年度 (2024年3月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,782	10,998
短期借入金	4,166	3,813
1年内償還予定の社債	539	477
リース債務	1,255	1,087
未払金	2,516	3,750
未払費用	2,375	2,449
未払法人税等	293	738
賞与引当金	620	716
その他	1,316	870
流動負債合計	22,866	24,903
固定負債		
社債	8,078	8,100
長期借入金	13,660	15,376
リース債務	1,925	1,800
長期末払金	1,188	985
繰延税金負債	985	68
再評価に係る繰延税金負債	3,399	3,399
役員退職慰労引当金	81	10
汚染負荷量引当金	402	382
退職給付に係る負債	5,120	4,575
その他	79	162
固定負債合計	34,920	34,861
負債合計	57,787	59,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,606	4,678
利益剰余金	6,719	11,281
自己株式	△86	△109
株主資本合計	17,584	22,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,241	2,712
繰延ヘッジ損益	7	-
土地再評価差額金	5,393	5,393
為替換算調整勘定	△94	△113
退職給付に係る調整累計額	△27	753
その他の包括利益累計額合計	7,520	8,746
非支配株主持分	3,644	1,407
純資産合計	28,749	32,350
負債純資産合計	86,536	92,115

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
売上高	56,749	57,882
売上原価	43,666	41,641
売上総利益	13,082	16,241
販売費及び一般管理費	10,871	10,784
営業利益	2,210	5,456
営業外収益		
受取利息	2	15
受取配当金	231	195
為替差益	283	83
受取賃貸料	239	263
その他	118	159
営業外収益合計	875	717
営業外費用		
支払利息	261	311
社債発行費償却	44	43
賃貸収入原価	157	245
その他	305	210
営業外費用合計	769	811
経常利益	2,317	5,362
特別利益		
関係会社株式売却益	-	356
段階取得に係る差益	-	131
特別利益合計	-	487
特別損失		
工場閉鎖関連損失	1,178	-
減損損失	113	-
特別損失合計	1,291	-
税金等調整前当期純利益	1,025	5,850
法人税、住民税及び事業税	516	932
法人税等調整額	179	17
法人税等合計	695	950
当期純利益	329	4,900
非支配株主に帰属する当期純利益	77	192
親会社株主に帰属する当期純利益	252	4,707

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
当期純利益	329	4,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	△82
繰延ヘッジ損益	△16	△9
為替換算調整勘定	△75	△18
退職給付に係る調整額	△67	780
その他の包括利益合計	△225	669
包括利益	104	5,570
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	53	5,376
非支配株主に係る包括利益	50	193

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年3月21日 至2023年3月20日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,344	4,606	6,663	△85	17,528
会計方針の変更による 累積的影響額			△7		△7
会計方針の変更を反映し た当期首残高	6,344	4,606	6,655	△85	17,520
当期変動額					
剰余金の配当			△188		△188
親会社株主に帰属する 当期純利益			252		252
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	63	△0	63
当期末残高	6,344	4,606	6,719	△86	17,584

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算調 整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,286	18	5,393	△19	39	7,719	3,616	28,863
会計方針の変更による 累積的影響額								△7
会計方針の変更を反映し た当期首残高	2,286	18	5,393	△19	39	7,719	3,616	28,856
当期変動額								
剰余金の配当								△188
親会社株主に帰属する 当期純利益								252
自己株式の取得								△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△45	△10	-	△75	△67	△198	28	△170
当期変動額合計	△45	△10	-	△75	△67	△198	28	△106
当期末残高	2,241	7	5,393	△94	△27	7,520	3,644	28,749

当連結会計年度(自2023年3月21日 至2024年3月20日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,344	4,606	6,719	△86	17,584
当期変動額					
剰余金の配当			△145		△145
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,707		4,707
自己株式の取得				△40	△40
自己株式の処分		22		17	40
連結子会社株式の取得 による持分の増減		49			49
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	71	4,562	△22	4,611
当期末残高	6,344	4,678	11,281	△109	22,195

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算調 整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,241	7	5,393	△94	△27	7,520	3,644	28,749
当期変動額								
剰余金の配当								△145
親会社株主に帰属する 当期純利益								4,707
自己株式の取得								△40
自己株式の処分								40
連結子会社株式の取得 による持分の増減								49
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	471	△7	-	△18	780	1,225	△2,236	△1,010
当期変動額合計	471	△7	-	△18	780	1,225	△2,236	3,600
当期末残高	2,712	-	5,393	△113	753	8,746	1,407	32,350

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,025	5,850
減価償却費	3,254	3,073
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	101
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	△68
汚染負荷量引当金の増減額 (△は減少)	△20	△19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△514	△169
受取利息及び受取配当金	△234	△212
為替差損益 (△は益)	△331	△122
支払利息	261	311
有形及び無形固定資産除却損	119	102
有形固定資産売却損益 (△は益)	△14	△40
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△356
減損損失	113	-
工場閉鎖関連損失	1,178	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△679	△4,288
棚卸資産の増減額 (△は増加)	550	△72
未収入金の増減額 (△は増加)	△746	△259
前渡金の増減額 (△は増加)	△87	25
仕入債務の増減額 (△は減少)	396	1,286
未払費用の増減額 (△は減少)	△222	81
その他	34	817
小計	4,072	6,038
利息及び配当金の受取額	234	212
利息の支払額	△242	△306
工場閉鎖関連損失の支払額	△632	△64
法人税等の支払額	△1,344	△175
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,087	5,704
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	9	-
有形固定資産の取得による支出	△5,788	△8,023
有形固定資産の売却による収入	24	40
解体撤去費用の支出	-	△787
投資有価証券の取得による支出	△13	△113
貸付けによる支出	△4	△8
貸付金の回収による収入	159	7
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△144
関係会社株式の取得による支出	-	△286
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	600
その他	19	△73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,593	△8,790

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△5,270	△1,496
長期借入れによる収入	12,700	4,430
長期借入金の返済による支出	△1,031	△1,570
社債の発行による収入	-	488
社債の償還による支出	△647	△539
セール・アンド・リースバックによる収入	349	930
リース債務の返済による支出	△1,552	△1,169
長期未払金の返済による支出	△195	△195
配当金の支払額	△188	△145
非支配株主への配当金の支払額	△22	△19
その他	△0	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,140	750
現金及び現金同等物に係る換算差額	109	45
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	744	△2,291
現金及び現金同等物の期首残高	5,325	6,069
現金及び現金同等物の期末残高	6,069	3,778

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ガラスびん・ハウスウェア・紙容器・プラスチック容器・産業器材の製造及び販売、並びにこれに関連した事業活動を展開しております。

したがって、当社は、これらの事業活動から「ガラスびん関連事業」・「ハウスウェア関連事業」・「紙容器関連事業」・「プラスチック容器関連事業」・「産業器材関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービス

「ガラスびん関連事業」は、ガラス製容器等を製造・販売しております。「ハウスウェア関連事業」は、ガラス製及び陶磁器製食器等を製造・販売しております。「紙容器関連事業」は、紙容器及び紙容器に係る充填機械の販売・メンテナンスをしております。「プラスチック容器関連事業」は、PETボトル用プリフォーム等を製造・販売しております。「産業器材関連事業」は、主に加熱調理用器具のトッププレート等を製造・販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注4)
	ガラス びん 関 連	ハウス ウェア 関 連	紙容器 関 連	プラス チック 容 器 関 連	産 業 器 材 関 連	計				
売上高										
顧客との契約から生 じる収益	14,539	13,244	7,147	14,526	2,498	51,955	4,793	56,749	—	56,749
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,539	13,244	7,147	14,526	2,498	51,955	4,793	56,749	—	56,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	399	—	399	5,788	6,187	△6,187	—
計	14,539	13,244	7,147	14,926	2,498	52,355	10,581	62,936	△6,187	56,749
セグメント利益又は 損失(△)	△754	315	△142	2,028	371	1,817	390	2,207	3	2,210
セグメント資産	10,172	12,647	5,493	28,916	2,372	59,603	9,329	68,932	17,604	86,536
その他の項目										
減価償却費	709	486	254	1,630	66	3,148	106	3,254	—	3,254
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	449	767	82	3,923	67	5,291	237	5,528	—	5,528

当連結会計年度(自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注3)	連結 財務諸表 計上額 (注4)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 関 連	業 材 連 関				
売上高										
顧客との契約から生 じる収益	12,356	13,827	8,534	15,274	2,664	52,657	5,225	57,882	—	57,882
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,356	13,827	8,534	15,274	2,664	52,657	5,225	57,882	—	57,882
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	260	—	260	4,666	4,927	△4,927	—
計	12,356	13,827	8,534	15,535	2,664	52,917	9,892	62,810	△4,927	57,882
セグメント利益	1,118	913	259	2,614	437	5,343	138	5,482	△25	5,456
セグメント資産	11,439	13,250	5,945	36,790	2,592	70,018	3,912	73,930	18,184	92,115
その他の項目										
減価償却費	602	494	238	1,430	60	2,827	246	3,073	—	3,073
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	334	1,058	56	7,024	67	8,540	130	8,671	—	8,671

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. 前連結会計年度におけるセグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円には、棚卸資産の調整額3百万円、その他△0百万円が含まれております。また、セグメント資産の調整額17,604百万円には、管理部門に帰属する全社資産等18,118百万円、債権・債務消去△506百万円、棚卸資産の調整額△11百万円、その他4百万円が含まれております。
3. 当連結会計年度におけるセグメント利益の調整額△25百万円には、棚卸資産の調整額△9百万円、その他△16百万円が含まれております。また、セグメント資産の調整額18,184百万円には、管理部門に帰属する全社資産等18,641百万円、債権・債務消去△426百万円、棚卸資産の調整額△20百万円、その他△9百万円が含まれております。
4. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
1株当たり純資産額	5,997円88銭	7,418円27銭
1株当たり当期純利益	60円26銭	1,129円21銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	252	4,707
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	252	4,707
期中平均株式数(千株)	4,185	4,169

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。